

～社員の労働安全意識の向上を目指して～ 教育センターに「危険体験実習室」を設置

三菱電機ビルテクノサービス株式会社
東京都千代田区有楽町1-7-1

“ビルを、まるごと、心地よくする” — 三菱電機ビルテクノサービス株式会社（社長：石川正美）では、社員の労働安全意識の向上を目的に、疑似体験しながら事故・災害防止のポイントを学ぶことができる「危険体験実習室」を当社教育センター（東京都小平市）に設置します。

この「危険体験実習室」では、新入社員をはじめ、教育センターで研修する全ての技術職から営業・事務職の社員を対象として、教育センターで研修を行う毎に、何度も繰り返し実習する予定です。

また、安全意識をさらに高めるために、労働災害の発生状況を疑似体験する「危険体験型DVD」も制作し、5月から全国約280ヵ所の事業所に配布します。

当社では、作業現場での労働災害防止を最重要事項とし、全社を挙げて安全衛生管理に努めています。その施策として設置、制作した「危険体験実習室」「危険体験型DVD」により、作業現場での危険や労働災害の恐ろしさ、安全確保の大切さなどについて「疑似危険体験」を通して、社員一人ひとりの安全意識、危険感受性および安全ルール遵守の意識向上を図ります。



危険体験実習室の「高所墜落体験」の様

◆危険体験実習室について

(1) 危険体験実習の目的

- ・危険に対する感度を高める
- ・作業手順やルールの重要性を理解する
- ・自分で危険を感じ正しく行動する

(2) 体験実習内容

作業現場で発生が想定される労働災害・事故について、専用の機器を用いて疑似体験しながら事故・災害防止のポイントを学ぶことができます。

【実習項目】

1) 安全ロープひっぱり体験

エレベーターのかご上作業で、安全ベルトをした状態で、安全ベルトのロープがからまり引っ張られる災害事故を疑似体験します。

2) エレベーター巻き上げ機はさまれ危険体験

エレベーター巻き上げ機による「手指のはさまれ」災害事故を、模擬手指を用いて疑似体験します。

3) 脚立危険作業体験

段差のある床上に脚立を設置し、不安定な脚立上での作業の危険性を疑似体験します。

4) 感電体験

濡れた手と乾いた手の両方で、不安全行動による疑似感電体験します。

5) 高所墜落体験

人と同じ重さの人形を使用して、高所墜落の衝撃の大きさや怖さを視覚体験し、安全ロープ正しく使うことなど高所作業におけるルールを確認します。

6) 工具飛来体験

工具や部品飛来による衝撃の大きさについて視覚体験し、ヘルメットの効用と使用基準を理解し、正しい使用法を確認します。

7) 重量物落下体験

安全靴に重量物（突起ある物、突起ない物）を落下させ、衝撃の大きさを視覚体験し、安全靴の保護性能と特性を理解し、過信せず正しく使用方法を確認します。

8) カッター切創体験

事務作業や現場作業でよく使用するカッターナイフについて、モノにかかる力が外れた先に模擬の手を設置し、反動や傷の深さを疑似体験します。

◆危険体験型DVDについて

(1) 危険体験型DVD制作の目的

- ・労働災害の状況を映像を通じて疑似体験する。

(2) 活用方法

- ・職場でのゼロ災ミーティングなどで視聴し、災害の要因分析や対策の検討に活用する。

◆2013年度の研修対象者数

(1) 2013年度新入社員の集合研修

… 約300名

(2) 教育センターで研修を行う技術職、営業・事務職全員

… 延べ約3,000名

◆本資料に関する報道機関の方からのお問合せ先◆
三菱電機ビルテクノサービス株式会社広報室 担当：宮本
TEL：03-5810-5280
e-mail：a_meltec-kouhou@meltec.co.jp